

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月24日	都市整備部	秋田市民交流プラザ管理室	企画担当	-	-	-	2都ブ02	20

業務名称	市民活動育成、支援業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民が自らまちづくりに参加する意欲を高めることができる	地域づくり参加の意思を持っている市民の割合	未実施	20%	2.5	11,055
担当業務目的	自己責任のもと、市民自ら行動できるよう市民力のアップをめざし、市民活動の育成や、支援を行う。	市民活動情報データベース(グループウェア)登録ID数	-	500件	2.5	11,055

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 市民交流プラザを市民参加型施設として運営する				11,055	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンに合わせ募集した施設運営サポーターは、アルヴェサポーターの会を結成し、現在22人が施設ガイド等市民交流プラザの運営にボランティアとして参加している。また、サポーターの会は、新たにアルヴェを舞台にした自主事業「スタジオアルヴェ」を立ち上げるなど、活動範囲を広げている。 ・市民活動の支援のため、市民交流サロンにアドバイザーを3人配置し、相談機能を強化したほか、情報の発信・収集機能としてグループで情報を共有できるシステムを導入した。また、市民活動の啓発を図るため、若者を対象とし、若い市民活動実践者を招いて行う「ヨルカイギ」を7回開催した。さらに、市民活動を行っている方々のレベルアップを図るため、テーマを定めて、内外の著名な市民活動実践者を講師として「市民活動連続講座」を2回開催した。市民活動を広くPRするため、「市民活動フォーラム」を2回、「市民サークル活動発表会」を1回開催した。 ・秋田市民交流プラザ内他施設においても、16年度末で自然科学学習館31人、子ども未来センター40人がボランティア登録し活動している。
年間利用者数	-	80万人	<ul style="list-style-type: none"> 自然科学学習館の展示内容等を検討する 市民交流サロンの運営方法等を検討する 市民活動の育成、支援をはかる 施設運営サポーターの育成、活用をはかる 		